

## 長岡技科大など13大学15件採択

「卓越大学院」採択を受けた大学	
大学名	教育分野などのポイント
北大	獣医・医薬業保健で感染症と化学物質のハザードに対応
東北大	データ・機器・社会インフラで健康を実現する未来型医療
筑波大	人工知能エレクトロニクスでソフト、ハード、アーキテクチャーを融合
東大	ヒトの生理・病理の解明と快適生活のヒューマニクス
東京農工大	生命科学における医工薬理の融合研究の実践トレーニング
東工大	先端工学による農業流通革命とダイバーシティ
長岡技科大	物質科学×情報科学の「複素人材」
名大	産業根幹の材料科学、電力工学を情報工学で革新へ
京大	機能化学と生命科学を融合したトランジスタ・オーディオ
阪大	座化ガリウム半導体で、製品イノベーション期間を3分の1に
広島大	先端光・電子デバイスで修士から複数教員指導制
長崎大	生命医科学の社会実装で、病院を活用した実践訓練科目
早大	ケノム編集の基礎、創薬、産業技術、ベンチャーの推進
東大	熱帯医学、新興感染症を核としたグローバルヘルス
名大	材料と電力システムをつなぐパワーエネルギー

文部科学省は大学院教育改革を先導する2018年度新事業「卓越大学院プログラム」で13大学15件の採択を決めた。東北大と名大は各校2件ずつ採択された。国公立大学の研究型大学以外では長岡技術科学大学と長崎大学が、私立大学では早稲田大学が選ばれた。異分野融合や企業資金獲得をキーワードに、科学技術と高等教育の取り組みを連動させる高度人材養成プログラムが動きだした。

(編集委員・山本佳世子)

# 「卓越大学院」始動

## 文科省、今年度新事業

一般的な世間のイメージとして博士号取得者は閉鎖的で視野が狭いと考えられている。博士課程学生に5年一貫で世界最高水準の教育を全学的に実施する。専門性だけでなく独創力や社会全体の俯瞰力を持つため、学内外の研究機関との連携に取り組む。

当初は一件あたり5億5000万円のプログラムを10件採択するとしていたが、4倍弱にして15件の競争率を経て「卓越大学院プログラム」に採択された大学は、博士課程学生に5年一貫で世界最高水準の教育を全学的に実施する。採択案件の領域は生命・医療系、エレクトロニクスや材料の工学系でほぼ二分されている。さらに情報など社会のイノベーション創出に必要な分野融合を盛り込んでいる点が共通する。

文科省が進める科学技術や産学連携の既存の拠点形成事業と運動したケースも目を引く。名大の化学・生命科学融合は基礎研究の国際競争力強化に向けうとしている。

当時は一件あたり5億5000万円のプログラムを10件採択するとしていたが、4倍弱にして15件の競争率を経て「卓越大学院プログラム」に採択された大学は、博士課程学生に5年一貫で世界最高水準の教育を全学的に実施する。採択案件の領域は生命・医療系、エレクトロニクスや材料の工学系でほぼ二分されている。さらに情報など社会のイノベーション創出に必要な分野融合を盛り込んでいる点が共通する。

文科省が進める科学技術や産学連携の既存の拠点形成事業と運動したケースも目を引く。名大の化学・生命科学融合は基礎研究の国際競争力強化に向けうとしている。

最初は「世界トップレベルの研究拠点プログラム」内外の研究機関や産業（WPI）、東北大の人工知能（AI）・エレクトロニクスのプロ

グラムは組織対組織の大学産学連携コンソーシアム事業「産學共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」（OPERA）に運動する。拠点に集まる国際的な研究者たちが博士教育に関する議論を行なう。また国の支援終了後、内外の大学や研究機関、企業などを機関の関係者が博士教育に関する議論を行なう。

これまでの大学院教育は、主に個別研究室での研究が中心となっていたが、この新事業では、複数の研究室や企業との連携による総合的な研究が求められる。また、実践的な研究が重視される。一方で、基礎的な研究も重要な位置を占めている。